

おおづまち議会だより

0ZU

2023
105号

今月の定例会は

12月	3月
9月	6月



ジュニアリーダー夢議会開催!!



議会を観ての生の声

9月定例会の傍聴者数のべ46人、ライブ配信再生回数1,213回 録画配信再生回数143回(10/13時点)

騒音や健康被害が起きる前に改善を



おおつか ひろし
大塚 弘さん(日吉が丘)

新庁舎となり、妻と2度目の議会傍聴でした。議員と担当職員との真剣な質疑応答、配られた資料などを見て町に対する熱意を感じました。日頃、自宅テレビを見るときに感じる騒音について関心があったので、「空港周辺地域の騒音対策」について興味深く傍聴しました。

TSMC進出に伴い国内外からの来航は益々多くなるでしょう。これに伴い航空機の増便も考えられます。国・県・周辺町村も対策を講じておられると思いますが、空港周辺住民は日々騒音に困らているのも事実であり、継続した発信が重要だと思います。

だからと言って観光・経済・文化交流等、熊本県をはじめ市町村自治体にとっては地域振興発展の為、大事でも有ります。だが、騒音に困らされている住民がおられることも忘れてはならないと存じます。国・県・関係機関とも連携しながら近隣住民に聞き取り調査を更に継続して行い騒音の軽減措置や健康被害が起きる前に改善の周知を図られますようお願いしています。

課題に議会と町民で一緒に取り組む町に



商工会青年部部長
ふじわら よしひろ
藤原 芳彦さん

今回議会の傍聴させていただいて感じたことは、普段から町や地域の活動でお会いする方々がたくさんおられ、普段は和やかな雰囲気の方たちが、議会の時は真剣なまなざし、そして町の代表として年齢問わず議論されている姿を目の当たりにして、今回より一層、大津町が発展していくと感じました。今後TSMCの影響で人口増加が見込まれる中、町としてどのような町づくりやインフラ整備していくのが直近の課題であると思いますが、今後より一層議員の方たち、行政の方々、私たち町民と一緒に真剣に取り組むことが大事だと感じました。

↓ 皆さまの声を寄せください!

切り取ってお出しいただき

郵便はがき

料金受取人払郵便

大津局
承認
702

差出有効期間
2024年5月14
日まで
(宛先を必ずご確認ください)

8 6 9 1 2 9 0

(受取人)

大津町大字大津1233番地

大津町役場 議会事務局

議会広報編集特別委員会 行

ふりがな
ご氏名

※議会だよりに掲載させていただく際に、イニシャルやペンネームをご希望される場合はこちらにご記入ください。

□□□-□□□□

ご住所

お電話 () - () - ()

次回定例会は

12月6日(水)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 12月6日(水)~14日(木)(予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編集: (委員長) 三宮 美香 / (副委員長) 豊瀬 和久
(委員) 時松 智弘 / 田代 元氣 / 大村 裕一郎

発行責任者: (議長) 桐原 則雄

編集後記

この間、記念すべき100号を発行したのに、もう105号に月日の経つ速さを感じています。隣町への大手半導体進出の影響で大津町も地価が上昇し多方面での影響が表れています。議会だよりでも町の方角を分かりやすく伝えていきますので今後の議会だよりにもご期待ください。
(三宮美香)

令和5年11月1日 第105号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キャップ
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

50
FONT
風や空、読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

この議会だよりは、
リサイクル推進のため
再生紙を利用しています。

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚 龍一郎	佐藤 真一	豊瀬 和久	山本 富夫	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀貢	時松 智弘	田代 元氣	大村 裕郎	賛成 ○	賛成 ●
一般会計歳入歳出決算の認定について	—	●	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	12	2
町外四ヶ市町村共有財産 管理処分事務受託 特別会計歳入歳出決算の認定について	—	●	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1
介護保険特別会計 歳入歳出決算の認定について	—	●	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1
後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算の認定について	—	●	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 欠は(棄権) 欠は(欠席)
その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索

本会議動画配信

議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)



豊瀬 和久議員
Toyoshima Kazuhiko

問 道路新設改良費で計上されている工業団地の排水対策と道路整備はどのような内容なのか。

答 工業団地予定地から国道325号を越えて、桜丘区までつながる約1キロの排水路の予備設計と、工業団地造成に伴う通学路整備として、主に歩道整備を目的とした測量設計委託となっている。



山本 富夫議員
Yamamoto Fumio

問 旧電算室はどのような利用を考えているのか、空いているので貸す方向で検討すべきでないか。

答 民間活力を入れるため全棟お貸しするという事で今年度内には公募する方向で進めている。



荒木 俊彦議員
Araki Shunpei

問 立石団地はレッドゾーン対象地域が2戸とのことだが、ほかにも対象地域があるのか、また転居費用の算出根拠は。

答 1棟2戸分のみとなっており、転居費用については国土交通省から算出方法が示されており同様に算出している。



佐藤 真一議員
Saito Makoto

問 工業団地の計画、投資額とリタンのバランスを取っていく必要がある。職員の人件費なども計上してフルコストを特別会計に入れなければ売却額が計算できないのではないか。

答 実際に工業団地ができると、調整池、樹木、道路の管理などが発生してくるので、誘致して終わりではなく、企業からの法人税や住民税等を含めたところで、最終的な収支がどれくらいになるかは、今後、状況を見ていく。



山部 良二議員
Yamashita Ryoji

問 工業団地地質調査委託について、地下水採取は周辺の地下水低下につながるのではないか。

答 今回はまず地下水があるかどうかの調査になる。地下水の状況把握には水道企業などと協力しながら調査検討を進めたい。



時松 智弘議員
Tokimatsu Tomohiro

問 学校給食について地産地消の取り組みを進めていると思うが、昨今の原材料の高騰や天候不順による材料確保が難しい現状があると食品納入事業者から聞いている。円滑な納品の対策や今行っている取り組みは。

答 今年度に入り納品が難しいとの事業者の声があり、給食センターと事業者が情報を共有する為、一堂に会し情報交換の場を作った。今後は定期的に意見交換できる場を作り、それを踏まえての献立作りをやっていただきたい。



三宮 美香議員
Miyama Misako

問 県予選を勝ち抜いた和牛の横断幕の作成状況について例規集に記載はあるのか。文化スポーツ関係と同じように要綱等を定めるべきでないか。

答 農業関係者が全国大会に出場する場合は、町が支援して横断幕を作成している。



田代 元氣議員
Takeda Genki

問 中学校の備品購入について、古くなった備品の処分費用は。また、空き教室に保管することはないか。

答 入れ替え時に処分をする予算を組んでいる。不要な備品についても総点検を行い、対応していく。



永田 和彦議員
Arita Kazuhiko

問 町税について、不能欠損について、課税状況に問題ないのか。また、決算審査の中で、多額の不用額について指摘があったが、それに対する対策は。

答 不能欠損には帰国された外国人、生活保護世帯なども含まれている状況です。不用額については、歳入の補正が3月になっていたため、今年度から9月に補正し、それを下期に向けて、政策的な経費として予算編成することが考えられる。

誰もが住みたくなるまちへ

大津町のこんなことが決まりました



9月定例会議

会期期間15日間 9月1日～9月15日

予算

9月定例会の議案等は

予算……………9件
決算……………8件
条例……………3件
人事……………1件

pick up 1 道路新設改良 1億1,889万円



併せて歩道が整備されます

pick up 2 企業誘致推進 1億1,132万円



企業立地の促進に取り組んでいます

令和4年度決算審査を終えて

地方自治法等の規定に基づき、令和5年7月から8月末までに実施した令和4年度一般会計、特別会計及び公営企業会計に係る決算審査の結果、収支決算・基金運用及び諸手続きに要する関係書類は法令等に適合し、かつ正確に行われていることが認められた。

一般会計における形式収支から翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支は、10億5315万円余の黒字となり、財政秩序維持の重要な指標とされるプライマリーバランスも昨年度の赤字から黒字決算となった。また、全会計を通じ財政健全化判断比率や資金不足比率等についても国が示す指標の数値以下であり法令に適合し、かつ、正確であり財政の健全な運営が認められた。

決算における黒字要因は、熊本地震からの復旧・復興に係る事業が完了し地方債の借入が大幅に縮小し、町民税及びふるさと納税等の収入が大きく伸びたことが主な要因となっている。

財政運営上の課題として、収支の差額として昨年度に引き続き11億円余の不用額が生じており、予算の捕捉の問題として、経済状況等を見極め、あらゆる資料に基づき正確に財源を捕捉しているか、歳入と歳出予算の整合性はとれているかなど、今後、しっかりと検証が必要と思われる。

公営企業会計では、公共下水道事業及び農業集落排水事業で審議会を設置し料金改定が議論されているが住民生活に直結する問題であり審議会の議論の状況や情報提供等に適切に対応していただきたい。

なお、TSMCの進出に伴い町営工業団地造成、道路網の整備等への投資が見込まれる。既存事業に遅れや影響がないよう重点事業の選択とそれに伴う財源の手当のため法定外目的税導入などの検討と早急な中期財政計画の策定が望まれる。



いまむら あきひこ
今村 昭彦
代表監査委員

総務委員会レポート

すすむグローバル社会



マイクロバスと一般車両で混む駅前

企業進出による駅北口渋滞緩和策は

Q 半導体サプライチェーンとなる企業進出が相次ぎ、朝の駅北口は従業員送迎マイクロバスと、住民利用の車が混みあい乗降が不便と聞く。対策は。

A 道路の安全面は防災交通課、駅南口は商業観光課、全体的な政策は総合政策課、将来的な整備は都市計画課で進めており、関係各課と情報を共有し対策を行っていく。

受け入れる行政区の情報提供などの支援は

Q 外国人住民増加に伴い、対応に苦慮する行政区も出る。ごみ出しのルール周知や町内会などの案内をする場合、役場から何か支援はあるのか。

A 外国人相談窓口を今年5月より開設し、既に42件の相談が寄せられている。相談員の増員や対応日数を増やす事も検討していく。また、役場の各部署の多言語化も検討しており、各行政区にお知らせできるよう引き続き進めていく。



役場保有の携帯通訳機



区長会、PTA等の意見も

公共交通会議とは別に行政区の意見聴取を

Q 公共交通会議とは別に区長会から意見聴取は出来るか。公共交通を利用しない人にしてみれば他の事業財源に充てるべきとの厳しい意見もあるだろう。

A 様々な団体から意見を上げて頂く必要があると思うが、様々な団体を構成員として考えている。人数が多い場合にはその参加範囲も検討する。

一部交付税措置もあるが、基本的には一般財源で行う事業であり町民へ広く周知し区長会議での説明を検討する。

常に未来を意識した政策を

外国人住民対策は役場全体の検討が必要

Q 台湾企業の進出もあり今後も町内外国人は増加していくものと思う。外国人住民対策に町はどう対応するか整理し、示す時期が来ているのではないかと。

A 台湾からの転入が増えていると実感しており、今後の課題について菊池都市2市2町の行政連絡会議を定期的に開催している。その機会を通じて情報共有し、役場も各部署で課題を精査し次年度予算化に努める。



外国人相談窓口の対応状況

外国人の納税について未納を防ぐ周知手段は

Q 町における税の未納の中で、外国人の状況はどうか。また、大都市では外国人転入の多い地域で税未納が多いと聞くが対策は。

A 外国人全体の町税の未払いは年20万円、原因は非常に短期間の居住からの転出で納付書送付が間に合わなかったもの。未納は日本国民の方が圧倒的に多い。今後は外国人の未納が増加しないよう雇用事業者等にチラシ等で周知する。

短期就労外国人居住者に周知を

役場でのパスポート申請要領と注意点は

Q 町内からも海外へ渡航する事業者も増加する。役場で行うパスポート申請の流れは。また写真など、注意する点は。

A パスポートの申請には所定の申請用紙と注意書きにある書類と写真の準備が必要。窓口で申請内容と写真の審査を行い、県に送付している。県の審査終了後、交付は町で行う。パスポートの写真はかすれ、にじみに関する審査が厳しいため、注意が必要。



本籍地の戸籍抄本が必要で

さんぎょう かんが の産業を考える



スタンブラリーのチラシ

Q 新阿蘇大橋活性化協議会の活動はどんなっているのか。

A 本年度に名称を「南阿蘇鉄道沿線観光PR推進協議会」に変更した。構成団体（大津町、南阿蘇村、高森町）で連携し、令和5年度熊本県広域連携プロジェクト推進補助金を申請するなど、コロナ禍における観光振興・誘客促進の活動を行っている。

農業者年金について

Q 農業者が高齢になった場合、農業者年金で収入の確保はできるのか。

A 農業者年金は、旧制度は現役世代の保険料で支給される賦課方式だったが、農業者の減少により平成13年度で制度が終了し、新制度の積立方式の確定拠出型年金となった。老後の備えは国民年金だけでは十分といえないことから、税制面での優遇措置や、一定要件を満たす場合は保険料の国庫補助などもあるため、今後も周知を図っていく。



農業者年金の冊子

シルバー人材センターについて

Q インボイス制度が10月から開始され、シルバー人材センターでも適用される。センターで働いてもらうことで高齢者の健康が継続される側面もあるが、町としてシルバー人材センターへの姿勢についてどう考えているのか。

A この問題は、シルバー人材センターだけでなく、町内の農業法人も同じ悩みを持たれてはいる。シルバー人材センターについては、軽減措置対応や影響を受ける事業について、協議を進めている。



シルバー人材センター

おお づ まち これからの大津町

経済建設 委員会 レポート



補助金を受けた企業

補助金の交付後の検証は

Q 工場等振興奨励補助金は交付して終わりではなく、きちんと検証しながら、公金の使い方を精査する必要があるが、どう考えているのか。

A 固定資産税や法人町民税などの税収の見込みを計算し、補助金のリターンについて確認を行っている。

急傾斜地対策は



工事予定箇所

Q 急傾斜地対策の工事は、崩れた部分の一部が上井手で受け止められるため対象外となることだが、水がオーバーフローすることも考えられる。人命にかかわることなので、別の形でも検討したほうがいいのではないかと。

A 県の砂防担当の河川課や県北広域本部の農地整備課と協議したが、崩土は上井手で受け止めるための事業の対象とならなかった。用水の断面までしか整備できなかったため、実施するためには今回の起債事業には該当せず、今後事業を行う場合は町単独費での対応になる。

共有財産について

Q 共有財産山林の維持管理は今後どうするのか。

A これまで一般会計の長期施業委託の中で共有財産山林を含め維持管理を行ってきたが、契約を分けた方が管理しやすいとの意見もあり、令和6年度からはそれぞれに委託契約を行う予定。共有財産山林は、伐採作業がほぼ終了したので、今後、新植を中心に維持管理を行っていく。



作業中の写真

文教厚生 委員会 レポート

適正な予算執行で



町のスクールバス

Q スクールバスに安全装置を設置するが、路線バスにおいても、県外で、車内に置き去りにされる事故が発生している。路線バス利用の児童生徒もスクールバスを利用することはできないのか。

A 遠方から通学する児童生徒についてはスクールバスなどで通学を支援している。スクールバスの運行には、距離など一定の基準において判断している。

路線バス事業者においては、複数回の確認など安全対策を徹底されていると聞いている。

「子どもたちの安全を第二に」

安心・安全な地域づくりを

Q ふくしの相談窓口について、利用状況や利用者の反応は。

また、町職員との連携や制度の周知にも力を入れるべきである。

A 昨年度の実績は、新規相談者は77人で終結が74人、継続が81人である。以前は複数の窓口を訪れていたが、ワンストップで相談できる窓口があり助かるという声を頂いている。

ケース会議などでは町職員も同席し、連携を密にしている。広報やホームページ以外にも様々な機会を通じ周知に努めている。



ふくしの相談窓口

Q 農政課において、横断幕の予算が計上されていたが、スポーツ文化関係では基準が高く、判断基準を統一する必要があるのではないかと。

A 生涯学習課においては新たに定めた要綱に基づき、オリンピックなどの国際大会については町で作成し掲出しているが、町をPRする観点から、今後全庁的に考えていきたい。

町のPRになる 取り組みを



和牛オリンピックに出場された皆さま



からいもを使ったメニュー

Q 「からいもデイ」や「ふるさとくまさんデイ」の子どもの反応は。また、地元産食材の確保について不安材料はないか。

A 「からいもデイ」では、定番のメニューのほか、キャラクターアーモンドボテとといった新しいメニューを考え、献立の幅を広げ、好評である。地産地消については、気候などの影響で不足する場合は、近隣市町村や県内産の食材で対応している。

地産地消を活かした 給食の提供を

Q 災害時避難行動要支援者計画の策定について、地域によつてばらつきがある原因は。区長や民生委員を中心にリーダーシップをとって進めてもらいたい。

A コロナ禍もあり策定地区が増えている状況である。社会福祉協議会主催の地域福祉懇談会に実践地区の区長に事例を話して頂くなど、推進に努めている。

コロナも落ち着いてきたため、改めて社会福祉協議会と連携し、地域の計画づくりのサポートをしていきたい。



Q 大津幼稚園の民営化まで半年となったが、3、4歳児の保護者への説明は。また、子どもたちは先生が変わることと不安があるのではないかと。

A 昨年度から再編方針や民営化について、今後の方向性や移譲先法人の保育の様子を話し、大津幼稚園の方針も引き継いでいくということを保護者に丁寧に説明している。

また、職員についても、会計年度任用職員については、引き続き大津幼稚園での勤務をお願いしたいということの説明をされている。



大津幼稚園

Q 規制強化で住民の安全対策を

A 関係機関と協議を加速させる

たしろ げんき
田代 元氣議員



歩道末整備の通学路

その他の質問

- ・町有施設のネーミングライツ導入について

Q 通学路や生活道路については、これまでさまざまな質問が出ているが財政面の問題などで解決には至っていない。最近では幹線道路の渋滞を避けるため、通学路を通る車両が増えたり、大変危険な状態である。

A 以前から交通渋滞による悪影響が指摘されていたが、最近では工事車両も増え、町内各地の通学路や生活道路を抜け道として通る車両が増加し、歩行者の安全確保は喫緊の課題であると認識している。

通学路の安全対策として、通学時間に交通パトロールの強化や、関係機関と危険箇所の合同点検を実施している。時間帯進入禁止や大型車進入禁止については、安全対策における非常に有効な手段だと考えている。今後、関係機関と協議を加速させ、効果が見込める箇所については導入したい。(町長)

Q 立野ダムのメリットとデメリットについて

A 立野ダム工事事務所へ課題を共有し協議する

やまもと ふじお
山本 富二夫議員



白川に大量に流れ着いた流木

その他の質問

- ・地下水を心配している町民に対し、水田湛水事業をPRすべきだ。
- ・町職員の働き方改革をすべきだ。

Q メリットは、水量が危険水位より、増えなくて洪水にはならなかった。デメリットについては、川の水が減水と共に、穴あきダムの穴から、内牧地域の白川に大量に流れ着いた流木の山である。又、水田に水を取り入れている、畑手も大量に流れ着いた流木と砂にふさがれ、下流に、水が流れない為大型の重機での撤去作業をしたが、高額の撤去費用は農家負担である。

A 大量に流れ着いた流木と砂の撤去費負担金を、立野ダムに負担を協議すべきだ。

今後の大雨に伴う増水時の流木の撤去作業は立野ダム工事事務所と、熊本県とともに協議する。今後も国県と連携して河川の適正な維持管理に努める。(都市整備部長)

一般質問

町政を問う 6月定例会

一般質問に16名中10名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問のライブ・録画配信を行っています。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

Q バリアフリー法を重視した公園整備を

A 国内外から注目され集客力を持つ公園を検討

ときまつ ともひろ
時松 智弘議員



柵等は一部の意見で整備せず、インクルーシブ化を

その他の質問

- ・UDe スポーツを通じ若者男女を問わず交流できる機会を作る考えはないか
- ・物流を担うトラックドライバーの為、ステーション等の休息拠点を整備する考えはないか

Q 障害者基本法の中では、全国民が等しく基本的な権利を共有するべきでない個人であるといえる。町長が目指すインクルーシブ社会では、個の属性によって周りが排除されず、誰もが社会の一員として支え合いながら、ともに生きる社会を目指すべきだ。

A 公園が散見されるが、町の全体の公園のインクルーシブ化は出来ないのか。都市空間の創出、暮らしやすさのアクセシビリティにならないよう求め、インクルーシブ社会の定義と公園の整備の現状を伺う。

都市公園には、防災、健康、教育、コミュニティ醸成など様々な役割があることから、全ての人が使いやすいようにつくられたデザインを目指すことが重要だ。そのため、公園整備や改修を行う際には、あらゆる立場の方の視点に配慮し、適切なバランスを見極めデザインする必要がある。みんなの公園プロジェクトに対する寄附財源を有効に活用しながら既存も含め、公園等のインクルーシブ化をしっかりと進めていく。(町長)

Q いじめ予防プログラム(トリプルチェンジ) 授業を!

A 子ども達が楽しく過ごせる学校にしてい

やまべ
山部
りょうじ
良二議員



柏市HPより

その他の質問

・通学路の安全対策について

Q カナダの研究によると、いじめ事案の85%は傍観者が存在し、74%は積極的支持、23%は暗黙的支持。実に傍観者の8割がいじめを嫌だと感じており、その内の13%の子どもが勇気を出し、いじめを止めようとしたところ、57%のいじめが数秒以内に止まっている。以上を踏まえ、いじめに関する正しい知識や行動を教える事が、子ども達が傷つく機会をはるかに減らせるのではないかと考えています。

A 令和5年度、学校教育ビジョンにおいて、いじめ・不登校等の未然防止と解消の位置づけ、安心・安全な学校づくりの推進に取り組んでいる。平素から子どもたちの状況を把握し、支援体制の充実を図ることで、今後もいじめの未然防止及び解消に取り組んでいく。また、「いじめ未然防止プロジェクト」についても今後、調査・研究していく。(町長)

Q 農家の収入保険は

A 町も情報発信を行っていく

おおむら
大村
ゆういちろう
裕一郎議員



Q 農業を取り巻く状況は資材高騰等により以前として悪い状況にある。そういった状況も踏まえ、合志市では、保険加入の呼び水的な意味合いで6万円上限の保険加入掛金三分の一を補助する事業を行なっている。

A 大津町でも数度にわたって農家に物価高騰対策として補助を行なっているが、今後の状況を考えて、農家に対して合志市が行ったような保険への加入を促すような施策を行なっていくことも必要ではないかと考えるが、町長の考えを問う。

A 現在は大津町において、収入保険への加入促進事業を行っていないが、物価高騰対策として、臨時交付金を活用し、令和4年度に補助金交付事業を実施して、今年度においても、6月より、畜産農家に重点を置いた支援を実施している。

A 物価高騰が続く中、これまで町としても交付金も活用しながら、農家の皆様への複数の支援策を行ってきたが、この収入保険制度への助成も、農家支援策の一つのうちであると考える。

A 今後は国県や、県内の市町村の状況を調査し、どのような支援がいいのか、関係者協議を行っていくとともに、情報発信等も進めていく。(町長)

その他の質問

・人参選果場新築について

Q AIを活用し、公共交通不便地域にも乗合タクシーを

A 実証運行の経過と住民の要望把握から

あらき
荒木
としひこ
俊彦議員



その他の質問

・PFAS(有機フッ素化合物)地下水検査と情報公開
・大津町も給食費・菊陽町にならって月千円の援助を

Q 町中心部を東西に周回する「まちなかエリア巡回バス」の実証運行が10月から始まる。

A 一方、中心部周辺の人は、既存のバス利用も不便なうえ、乗り合いタクシーも対象外であり、室小周辺、桑善・日吉ヶ丘、美咲野、上天津、国道57号の南側地域の人は「公共交通不便(空白)のままとされている。荒尾市ではAIを活用し、市内全域で乗合タクシーを利用できる。大津町でもAIを活用し、公共交通の充実を進めるべきではないかと考えています。

A 町なかエリアでのオンデマンドタクシーの導入は、現時点で既存の公共交通との整合性が難しい状況である。

A 一方、乗り合いタクシーにAIを導入すれば、相乗りの効率的な配車が可能となるが、システムの初期投資及び運用経費にかなりの経費が必要となる。

A まず、10月から巡回バスの実証運行の経過をみて、AIシステム進化にも期待しながら、改めて町民への要望と事業者へのヒアリングから方策を検討したい。(町長)

Q 阿蘇くまもと空港騒音対策について

A 地域住民の意見を集約し要望していく

おおつか
大塚
ますお
益雄議員



住民の地域
行経路
町内の飛行経路
19

Q 熊本空港は昭和46年4月、6往復便から就航し開港した。現在は、国内線往復80便。国際線往復16便が就航しており離着陸している。離陸の騒音は最大であり、その経路の下に位置する大津町は騒音の影響を大きく受けている。航空機騒音の環境基準については、全地点環境基準は達成しているが、年々便数も増加、飛行機も小型化し航路も変化騒音も悪化している。よって、再度騒音調査すべきではないか。また、運用時間の厳守については、重要であり今後も監視すべきではないか。そして、騒音の被害を受けている地域に対する助成の在り方も見直すべきではないか。

A 航空機騒音防止法に基づき騒音対策事業を実施しています。また、代表で組合代表として、大津町の飛行経路、町内の飛行経路、町民の意見を集約し要望していく。

その他の質問

・災害を起こしかねない水路の点検整備を

東部清掃工場の解体について 国県のインフラ整備計画と町の発展について

ながた 永田 かずひこ 和彦議員



※ 録画配信をご覧ください！

国県のインフラ整備計画と町の発展について
町の工業団地整備に多大な影響を与える
近郊市町との企業誘致合戦に勝算はあるのか
県は菊池市に工業団地を整備するが、なぜ大津町は単独か
1次産業の生産性維持及び向上の確保可能か
町道整備との連携で宅地開発を加速させ人口を増加させる

東部清掃工場の解体について
解体費用約8億円の財源確保と期間の明確化
解体終了後の利用計画
周辺地域の可能性の創出

論点

質問の相手はすべて町長です。

台湾行政視察中止の経緯について

大津町議会では、10月4日(水)～6日(金)の3日間で、議員14名(不参加2名)、随行職員2名で台湾行政視察を実施する予定としておりましたが、台風14号の台湾接近・上陸による影響を考慮し、視察を中止しました。



1. 視察地	台湾(台北市、新竹市、宝山郷)
2. 目的	・TSMC本社がある台湾を訪問し、企業の規模や現地の状況を確認する ・TSMC本社周辺の生活環境を確認し、町の環境整備の参考とする ・現地の団体と交流し、課題や施策を伺うとともに大津町をPRする ・その他の現地の状況を確認し、町の施策の参考とする
3. 視察先	・台北市進出口商業同業公會(台北市) ・TSMCミュージアム(新竹市) ・新竹サイエンスパーク(新竹市) ・宝山貯水ダム(宝山郷) ・肥後銀行台北支店(台北市)
4. 費用	約331万円
5. 中止までの経緯	・9月30日 台風14号の発生を確認(10月5日台湾南部上陸、通過予定。(中心気圧940hPa)) ・10月2日～3日 台風による台湾側への影響を確認(飛行機の通常運行及び視察先の受け入れ可能など) ・10月3日 緊急的に参加議員により協議した結果(一部欠席あり)、視察の中止を決定する ・同日 視察先及び旅行会社に視察中止を連絡。
6. 協議での議員の意見(抜粋)	・飛行機も運航し、視察先も受け入れが大丈夫であれば訪台して良いのではないかと。・延期して今年度中に再度調整できないか。・今回は中止して、残った予算で委員会毎に計画できないか。・今回の訪台を、行く人で行かない人に分けたらどうか。・視察を中止してもキャンセル料などが発生するため、相当の理由が必要。・研修の当初の目的が達成できるのか心配。・相手側が災害対応となった場合に、対応の邪魔とならないか。
7. 協議結果	・今回の台湾視察は中止(延期ではない)。・中止理由は、台風14号に伴う危機管理及び台湾側への配慮のため。・今年度中の台湾研修及び委員会研修は実施しない。
8. キャンセル後の費用	航空賃、宿泊費、その他経費など、キャンセル費用として約151万円

大津町議会ホームページでも掲載しています。

誰でも利用できる産後ケア事業を

A 希望者全員が対象となるようすすめたい

さんのみや みか 三宮 美香議員



その他の質問

- ・まちづくり懇談会の検証について
- ・町内の安心安全について

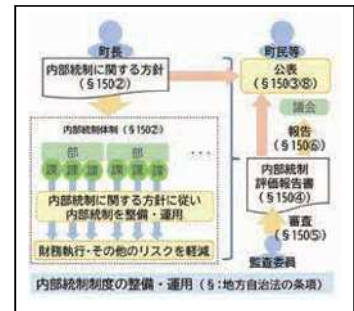
これまでの産後ケア事業の対象が「心身の不調または育児不安がある者」特に支援が必要とみとめられる者」から「産後ケアを必要とする者と改定され、出産後希望者は受けられるようになった。町のホームページは分かりにくく、周知が十分ではない。また、産後の母親には必要な事業なので、里帰り出産の母子や、今後増えてくるであろう外国人も対象にすべきではない。

A 国籍に関係なく、希望する人が安心して活用できるように事業の受皿をしっかりと確保しながら体制を強化し支援を行う。(町長)
妊産婦への情報提供、わかりやすいホームページと申請方法、医療機関や関係機関との連携を更に拡充していく。他の自治体の情報も確認し、希望者全員が対象となるよう当てはめて進めたい。(健康福祉部長)

内部統制制度の導入を

A (町長と総務部長の答弁に齟齬)

さとう しんじ 佐藤 真二議員



地方自治法に基づく内部統制制度

その他の質問

- ・業務改善の進捗について
- ・こども基本法と新たなこども計画の策定、こども基本条例について

これまで幾度も不適切な事務が繰り返され、最近では社会体育施設の指定管理での事務処理ミスとその後の対応の不手際などがあつた。過去の再発防止策は観念的な注意喚起にすぎず、必要なのは仕組みをつくることだ。地方自治法五〇条ではその仕組みとして「内部統制制度」の導入を求めている。スモールスタートでも導入してほしい。

A 現在も内部統制は出ているので、それを試行錯誤するような形でやっていきたい。(総務部長)
町長部局とともに、教育部局も取り組んでいく。(教育長)
今後取り組む内部統制制度というのは、法に沿ったものか。
A 現在も内部統制は出ているので、それを試行錯誤するような形でやっていきたい。(総務部長)

4年ぶり新議場で ジュニアリーダー夢議会を開催



金田町長
は、町の未
来に対する
提案やアイ
ディアを称
賛し、「大
津町のこれ
までとこれ
から」と題
して講話を
おこないま
した。

2023年10月17日（火）、ジュニアリー
ダー夢（JLD）議会が開催され、大津町
内の2つの中学校と、3つの県立学校から
10名が参加しました。
次代を担う若者が町長に対し直接質問や
提案を行うことで、政治を身近に感じる機
会となりました。
一般質問では、若者目線の提案や、町
の課題を解決するためのアイデアとなる貴
重な意見表明がありました。
この日に向けて中高生議員は何度も集ま
り、話し合い質問事項をまとめ上げました。

●大津北中学校 「農産物のブランド化」

河津 一仁 議員
かわつ くにと

【質問】 からいもの皮を利用した草
木染や、スポーツ選手などの有名人
とのコラボによるブランド化と、海
外への輸出による大津町のからいもの
知名度のアップを。



松崎 悠太 議員 まつざき ゆうた

【感想】 SDGsの取り組みとしてか
らいもの利用するという町独自の取り
組みができるのではないかと思います。
私たちが大津町の魅力を伝えられる
ようにこの町の良さを知っていきます。



●大津高校 「公園の利用改善について」

内柴 更紗 議員
うちばい さら

【質問】 子どもたちの遊び方について
危険性があり、思いっきり遊べない現
状がある。子どもたちが道路で遊ぶ
ことなく、のびのびと遊べるような公
園への改善や、新たな公園の設置を。



矢野 維槻 議員 やの いくづき

【感想】 サッカーなどで広い場所を
使いたい場合、小学校等に事前に相
談していくことや、私たちの公共施
設の使い方の改善をしていくこと
で、楽しく安全な公園利用になるの
ではないかと思いました。



学習会と議場での様子

●大津中学校

【部活動の地域移行について】

濱田 慧斗 議員
はまた けいと

【質問】 部活動において活動場所、
部員不足、指導者という3つの課題
があり地域移行の話も出ている。部
活動の地域移行にはメリットとデメ
リットがあるが、どのようなスケ
ジュールと、内容で進めるのか。



坂田 七海 議員 さかた ななみ

【感想】 将来、部活動の地域移行が
実現していたら、指導員として後輩
の指導に携わり、大津町の剣道の発
展に貢献することが私の夢です。



●大津支援学校

【学校給食の現状と展望について】

鎌田 敬太 議員
かまた けいた

【質問】 給食の時間を楽しみにして
いる児童生徒が多い。給食セン
ターのリフォームには、新たな発想
を入れ、見学ツアーや、給食作りの
体験会を開いたり、ふるさと納税を
利用した新しい資金の流れを作って
みたいとはどうか。



石坂 風央 議員 いしざか ふうお

【感想】 感謝しながら給食を食べる
ことや、食と栄養についての知識を
深め、おいしく給食を食べることで、
フードロス削減に協力できると思い
ます。みんなで協力することで、大
津町を応援していきたいです。



●翔陽高校

【新しい学習支援の提案について】

渡邊 真那斗 議員
わたなべ まなと

【質問】 個人でも集団でも学べる学
習場所として大津未来塾の対象を高
校生まで広げることや学習場所の提
供はできないか。また、会場に通う
時の安全対策として、街路灯や点字
ブロックが設置できないか。



福田 悠斗 議員 ふくだ ゆうと

【感想】 グローバル化が進み、大津町で
も海外の方が増加すると考えられ、日
本語を理解しにくいと悩んでいる人がい
るかもしれません。そのような人た
ちにも対応できると町のイメージアップに
もつながるはずだ。



